

# メキシコだより 5月号

川田 佑樹

良くも悪くも多くの事を知ることができ、経験を積むことができた留學生活も終わりが迫ってきました。残りほんの数か月しかないこの生活をどのように楽しむかを日々考えています。今月は学校メインの生活だったので、メキシコ人の国民性を中心に綴りたいと思います。

## メキシコ人

メキシコ人といっても、個人差、性格の違いなどがあると思いますので、ここでは私の個人的な意見として書くことをご了承ください。

メキシコ人は基本的に明るく、元気といったイメージが先行するかもしれませんが、それだけではなく家族思い、言っていることがコロコロと変わる、自分勝手など様々です。いくつか事例を挙げたいと思います。

## 自分勝手

運転はいい例だと思います。私は通学の際にはバスを利用するのですが、基本的に運転は自分本位な人が多いです。例えば高速道路の下の道をイメージしてください。高速道路の真下を走る幹線道路とその脇を走る道路に分かれており、バスは基本的に脇道を走ります。脇道から幹線道路に合流する道がありますが、渋滞をしているとき、バスはその道を途中まで走り抜け、行列に追突しないよう気を付けながら、バスの頭をその列に突っ込みます。メキシコ(特にメキシコシティ)では交通ルール、マナーはあまり順守されることがなく、列に入るためにウインカーを出すよりも先に頭を車の列へつつこむことが多いです。もちろん、しっかりとウインカーを出したり譲

ってくれるドライバーもいるのですが、そうでないドライバーも感覚的には6割程度います。このような悪いマナーが影響して、日本からの駐在員の中には、国際免許がメキシコ国内で使えず、会社から運転を推奨されないという人もいます。

## 時間感覚

時間にもルーズです。例えば6時からのパーティでは、大体8時くらいに参加者全員が集まり終えるか、または開始することが多いです。またメトロ、バス停には時刻表がなく、来たものに乗るといった感じです。先日メキシコ人と二人で出かける際に連絡を取り合っていたら、集合時間にその人が起床し、集合が結局1時間半後になるといったこともありました。

## 言うことの統一性のなさ

全員ではありませんが、半数ぐらいの人はこのようなことを行う気がします。以前、大家さんと二人で買い物に出かける際に、今日はバスに乗って Walmart へ行こうと話していたのにもかかわらず、その数分後にはタクシーを呼び、スーパーへ行きました。また、レストランで店員に何か足りないと言った際、すぐに来てくれますが、すぐには戻ってこないで何か用を済ませてから、数分後に何もなかったかのように持ってきたりすることもあります。

## 家族、恋人、友達を大切にする

この特徴は印象的でした。メトロの中、バスの中、レストランの中、道端など様々なところで電話や手をつないだりいろいろな形で愛情を表現したり、家族と連絡を取っていたりします。母の日には街中に花を持っているお母さんの姿が見られます。また SNS には、私の知り合いが母親と一緒にご飯を食べに行った写真や過去に母親

と撮った写真を感謝の言葉とともにアップしています。母親と連絡をコンスタントに取り続けたりなどと家族を大事にしている光景を多く見かけてきました。兄弟姉妹間の仲も良く、たまに遊びに出かける姿も見かけます。日本では、全員ではないにしてもこのように家族を思う心を忘れている人が多いなと感じます。私も日本へ帰ったらこのような気持ちを直接ではないにしても、ほかの形で表現できたらいいなと思います。最近よく大家さんとお出かける機会が多く、日々の感謝も込めて母の日に花を1輪プレゼントしたらとても喜んでいました。

